



## 北海道白老東高等学校

- ・所在地 白老郡白老町日の出町五丁目一七番三号
- ・創立 昭和六二年四月一日
- ・沿革 昭和六一年一〇月一日、北海道胆振地区高等学校の開校準備室を苦小牧南高等学校内に設置。開校事務取扱者四名発令。  
同十一月二六日、北海道教育委員会「公立高校適正配置計画」を決定。全日制普通科四間口一八四名となる。同十二月二〇日、道議会で「北海道立学校設置条例の一部を改正する条例」が議決され、「昭和六二年四月一日開校」決定。同六一年十一月二四日、制服決定。同六二年一月一六日、開校事務取扱三名兼務発令。同一月二六日、校歌、校章決定。

作詞 水野明章 作曲 星 寿次

一 風さやぐ 広き沃野に

育はぐくま<sup>ん</sup> 英知の芽吹き

若き日をここに学び

樽前の 高嶺をこえて

青雲に 大志をえがく

同二月一日、入学者選拔出願状況発表。出願者三四〇名、倍率一・八倍。(最終出願者三四五名、倍率一・九倍) 同三月五日、苦小牧南高校で入学者選抜学力検査実施。同十六日合格者発表。同二五日、開校準備室を新校舎に移転。同四月一日、開校。初代校長 水野明章以下一六名発令。

同四月九日、開校式並びに第一回入学式挙行。PTA総会。待望のこの日の模様について同六二年四月九日付「苦小牧民報」に、

白老町民念願の道立高校、白老東高校(水野明章校長)の開校式、第一回入学式が同校体育館で午前一〇時から行われた。道教育委員会委員長(安藤鉄夫)の開校宣言の後、水野校長に校旗が授与された。道委員長式辞の後、新入生一

人ひとりの名前が呼ばれ校長は一八四人の入学許可を宣言し、校訓『自き彊・聡明・礼節』の式辞を述べた。新入生代表の宣誓。教職員代表と生徒代表の交通安全宣言を行い、最後は全員で校歌を披露同校の歴史の第一歩を記した。

